

核兵器禁止条約第3回締約国会議 議長

アカン・ラクメトゥリン 殿

拝啓 2025年3月の核兵器禁止条約締約国会議の開催にあたり、苫小牧市民を代表してメッセージを送ります。

はじめに、3回目を迎える締約国会議におきまして、議長を務められるカザフスタン共和国のアカン・ラクメトゥリン殿に敬意を表します。

苫小牧市は、2002年に「苫小牧市非核平和都市条例」を制定し、以来、日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に努めるとともに、国是である非核三原則の趣旨を踏まえ、核兵器のない世界の実現に向けて取り組んでまいりました。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻に終わりが見えず、さらには核兵器の使用を示唆する言動があるなど、極めて憂慮すべき事態であり、残念でなりません。

広島・長崎の悲劇を二度と繰り返さないよう、世界中全ての国が核兵器廃絶に向けた強い意志を再確認し、ともに歩みを進めていくことを願ってやみません。

昨年には、長年にわたり核兵器の廃絶に向けて国際社会を牽引してきた日本原水爆被害者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞しており、このことは、全世界における核廃絶に向けた動きを加速させるものと信じております。

あの悲劇から80年という節目の年に開催される今回の会議が、核のない世界の実現に一步でも近づくために、実り多きものとなることを心からお祈りし、メッセージとさせていただきます。

敬具

苫小牧市長 金澤 俊